

大雪等に対する関係省庁災害警戒会議大臣挨拶

先週末2月8日の45年ぶりの大雪に続き、本日から全国で、大雪と暴風が予想されております。

先週の大雪では、除雪中の事故や転倒、車のスリップなどの事故により、政府として把握しているもののほかに報道されているものを含めれば、15名の方がお亡くなりになり、2000名以上の方々がけがをされています。

また、新幹線の車内や空港で一夜を過ごせざるを得ない方が発生するなど交通障害、帰宅困難者などがありました。

既に、降雪の中、多数の方が、会社や学校に通勤・通学されていることと思いますが、今後さらに降雪が強まることが予想されております。

国民の皆様におかれては、気象情報に十分に注意して、暴風雪のおそれがある場合は、不要不急の外出を控えてくださ

い。

特に、お年寄りの方は、移動の際の転倒に十分気を付けて下さい。

また、冬用タイヤ、チェーンの装備していない車の運転は大変危険であることに留意して下さい。

また、事業主の皆様、校長先生にお願い申し上げます。今後の気象情報に十分に注意して、職員、児童・生徒の安全に万全を期して下さい。今後、雪や風が強まってきた場合には、早めの帰宅を促すなど、躊躇なく対策を講ずるようお願いいたします。

また、市町村長、公共交通事業者の皆様におかれては、雪による、交通障害が起こる前に、お互いが連携し、帰宅困難者対策に万全の準備を行うよう、よろしく申し上げます。

先週は、週末の雪でしたが、本日は、平日であり、更に多くの帰宅困難者が発生するおそれがあることに十分留意して下さい。

本日は、緊急に関係省庁災害警戒会議を開催し、関係省庁にお集まり頂きました。

消防庁においては、関係自治体に対して、先週の大雪時の千葉市の事例などを参考に、帰宅困難者の発生時の対応に万全を期すよう指導してください。

国土交通省においては、鉄道、空港、高速道路などにおける帰宅困難者への対応や除雪体制の確保について事業者へ要請するほか、道路等の除雪に万全を期して下さい。

文部科学省や経済産業省は学校や企業に対して、早期の帰宅を呼びかけるなどの適切な対応をとっていただくようお願いいたします。

関係省庁も万全の体制を確保していただくようお願いいたします。